

No.	質問先	質問内容	質問回答
1	事務局	提案前に、豊橋市へ事前視察など可能ですか。	可能な限り対応したいと考えていますので、ご希望の方はまず事務局にご連絡ください。
2	事務局	他社との共同提案は可能ですか。	共同提案も可能です。代表者を決めたくうえで応募いただけますようお願いいたします。
3	事務局	2022年UIJの対象だった山口県周南市と同じ課題が出ていました。周南市での解決方法を採用することではいけないのでしょうか。	そのまま使える部分もありますが、必ずしも完全に一致しているわけではないと考えています。そもそも周南市でご提案していただいた企業様が本事業に応募してくれるかは分らず、仮に応募されたとしても、他社様と同様に選考させていただきます。
4	事務局	課題から「得られるもの」として「全国の自治体へ横展開」とよく書かれています。では、水平展開のためにどのようなサポートを受けられるのでしょうか。	企業様が他自治体にアプローチする際、本事業への参画実績をアピールできると考えています。
5	事務局	アーカイブなどございましたら、ご共有いただくことは可能ですか。	こちらからご覧になれます。 https://youtu.be/Jjic31Inhoo
6	事務局	実証におけるご提案のレベル感（スタートアップ企業などとの連携が可能か否かも含めて）について、教えてください。	ご提案は、応募フォーム（下記リンク）の入力項目をご確認ください。 https://urban-innovation-japan.com/application/ また、スタートアップとの共同提案も可能です。代表者を決めたくうえで応募いただけますようお願いいたします
7	事務局	他（例えば国）の予算がでているものの一部をこちらの事業と一緒に進めることは可能ですか。	可能です。本事業は補助金ではなく、実証支援金という位置づけであるためです。
8	事務局	ご発注額は50万円でしょうか。	50万円は市からの発注金額ではなく、その前段階である共同開発・実証のための実証支援金となります。今回の実証を通して良い成果が見込めれば、次年度の導入を検討して行くという流れです。
9	障害福祉課	どのような問い合わせが多いですか。	現状、「申請したが、いつ承認されるのか」という質問や交通の補助などお金に関する質問が多いです。
10	障害福祉課	提案するにあたり、障害の度合いや高齢者の方がどの程度操作できるかが不安です。	ご懸念の通り、直接操作できない方も多数いらっしゃいますが、訪問看護や相談支援事業所の職員を通じて利用を広めて行く形も検討したいと考えています。
11	障害福祉課	開発するにあたり、障害者に対する支援金に対するの知識が必要になると思いますが、国、県、市と支援が別々に存在しています。その知識(特に県や市が行っている支援)の提供やすり合わせは行っていただけますか。	実証中にガイドブックの提供やすり合わせを行います。
12	農地整備課	どういった基準で設備に問題があるかどうかを判断するのでしょうか。	ブロックの沈下、散乱、破損について調査し、総合的に判断しています。
13	農地整備課	どの程度の精度が求められますか。	明確な数値はまだ決まっていませんが、施工時は±30センチが許容範囲となっているため、それ以上の誤差を判定できればよいです。
14	農地整備課	海岸保全施設の点検記録は、何年分ぐらいありますか。また、どの程度整備されていますか（どのブロックがどの程度沈下したといった細かい記録がある形でしょうか）。	国全体で方針が決まったのが平成31年度からであるため、それ以降の記録があります。ただデータは細かいものではなく、「この範囲は沈下している」ことがわかる程度のデータです。
15	農地整備課	海岸保全施設点検について、対象とするのは離岸堤や護岸等の構造物と考えてよろしいですか。海岸侵食のモニタリング（汀線（ていせん）位置の把握）は想定されていますか。	構造物を想定しています。もし本事業期間に可能であれば、汀線の把握もできたらありがたいです。
16	農地整備課	現在行われている点検の頻度を教えてください。また、台風通過後等の緊急点検も行っていますか。	現在は年2回実施しています。台風や高潮時には緊急点検も行われます。
17	農地整備課	今回想定されているのは、現在豊橋市役所の職員が実施している点検を代替する方法と考えていいですか（外部委託までは想定していない）。	現時点では、職員の業務を代替できるものを想定しています。
18	農地整備課	本事業実施にあたって使わせていただくデータの管理や流出防止策について教えてください。	国土保全のための点検という性質上、データ流出（特に国外への流出）には細心の注意が必要だと考えています。そのため、どのようなデータ流出防止策がとられているかを確認させていただきます。
19	都市計画課	試行範囲の面積はどの程度となりますか。	LOD1の対象は市域全域だが、全部のデータがそろうのは年度末になってしまいます。そのため、本事業で必要となる部分を先に進めてもらうよう、現在3D都市モデルを構築している業者さんと調整いたします。豊橋市としては、現時点では豊橋駅東口周辺のデータ活用を想定しています。
20	都市計画課	LOD2以降の実施は決定事項ですか。	まだ決まっていません。本事業でユースケースを構築するにあたり、どうしてもLOD2が必要となった場合はLOD2の整備にかかる予算要求をし、整備を進めることになります。
21	都市計画課	豊橋市におけるPLATEAUの属性情報公開項目はもう確定されていますか。	属性項目は決まっているものの、どこまでオープンにするかは協議段階です。本実証では、クローズな形でデータ提供画可能です。
22	「スポーツのまち」づくり課	スマートロックについて管理したい施設1ヶ所あたりの鍵本数を教えてください。また、鍵の利用は屋外になりますか。	体育館の扉の鍵と夜間照明のスイッチが入っている箱の鍵の2本になります。いずれも屋外です。
23	「スポーツのまち」づくり課	体育施設の予約について、かなり複雑な予約手続きとなっていますが、これまでに、想定されているようなシステムの導入に至らなかった理由を教えてください。	複雑すぎて手を付けられなかったからです。
24	「スポーツのまち」づくり課	予約管理をオンラインで済ませることができたとし、決済をどのように行うか教えてください。	最初はどこかの窓口で支払いになると思われそうですが、最終的には電子決済を導入したいと考えています。
25	「スポーツのまち」づくり課	システム化の目的は、利用の窓口を増やすことで利用者の利便性を上げるためですか。それとも窓口をシステムだけに絞って業務の自動化をするためですか。	システムを導入し、管理業務を効率化することで、結果として利用者の利便性をあげたいと考えています。